

岐阜県立大垣工業高等学校

学校長 林 千尋

学校住所 岐阜県大垣市南若森町301番地1 電話 0584-81-1280

- 1 会議の名称 大垣工業高等学校評議員会 (平成27年度第1回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|--------|-----------------------|
| 委員 | 川瀬 勇 | 南若森第2自治会長 |
| | 中島 尚子 | 輪之内町女性会議事務局 |
| | 林 貴久 | 太平洋工業(株) 人事部長 |
| | 森 政司 | (株)セイノー情報サービス 取締役総務担当 |
| | 度会 さち子 | 岐阜女性史研究会 会長 |
- (委員名は五十音順)
- 育友会長 浜島 毅彦
- 学校側
- | | |
|-------|------------------|
| 林 千尋 | 校長 |
| 高木 剛 | 事務部長 |
| 岩田 善隆 | 副校長 |
| 西脇 誠 | 教頭 (全日制) |
| 森 保 | 教頭 (全日制) |
| 堀 秀樹 | 教諭 (全日制: 教務主任) |
| 小野 哲男 | 教諭 (定時制: 教務主任) |
| 山下 泰司 | 教諭 (全日制: 生徒指導主事) |
| 中野 久成 | 教諭 (全日制: 進路指導主事) |
| 川畑 茂 | 教諭 (全日制: 工業部長) |

- 3 会議の目的 岐阜県立大垣工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、平成27年度の教育方針・重点及び学校課題を説明し、協議テーマである「本校の良さを生徒の姿で地域に伝え、地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくり」について提言を受ける。

- 4 会議の開催 平成27年7月7日(火) 10:00~11:30 大垣工業高等学校 会議室
委員5人全員と育友会長、学校側10人が出席

5 会議の概要

- (1) 学校長挨拶
- (2) 日程説明
- (3) 授業参観 参観クラス: 2年機械科、2年電気科
- (4) 本校の教育方針と重点についての説明
全日制: 教務、生徒指導、進路指導、工業部
定時制: 教務

(5) 協議

「本校の良さを生徒の姿で地域に伝え、地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくりについて」の取り組みについて

意見 1 機械科と電気科の実習の授業を参観させてもらったが、「日本のものづくりの原点」を見たような気がして感動した。

意見 2 今日の実習の授業参観で、電気工事とはどのようなものなのかを、実際の配線作業の様子を見ることによって理解できた。真剣に取り組んでいる生徒の姿が印象的だった。

- 意見 3 今の子どもたち(小中学生)は、小さいときからゲームやパソコンなど、小さい枠の中のみでの体験を重ねてきている。その枠から外れた外側まで見たり、実際に実行したりする力が不足している。さらに、「ものを手先で作る喜び」を味わったことのある子どもたちが減っている。
- このような状況では、日本の将来が心配である。その点、大工Day(※)などで、大垣工業高校の生徒たちが地域社会へ飛び出して、ものづくりのすばらしさを地域へ発信する取組をすることは良いことだと思う。今後も、ものづくりのすばらしさや楽しさを、次世代を担う子どもたちに伝えていって欲しい。
- (※)大工Day
- ・毎年夏に、地域の大規模ショッピングモールなどで、ものづくりの体験教室を開催したり、ものづくりのすばらしさをPRしている本校の取組。
- 意見 4 ものづくりに携わっている人たちを含め、人間は、楽しみがないと一生懸命な取組が続かない。本日、実習の授業を参観したが、「できないことが、できるようになった」という楽しみ(実感)を生徒に感じさせることができる内容であった点が良かった。
- このように、具体的な楽しみ(成果や実感)を、生徒に感じさせることができる授業を、今後も続けて欲しい。
- 意見 5 今日の会の資料等を拝見させていただく中で、企業としてお願いしたいことは、全部学校でやっていただいていることが理解できた。
- 例えば、「社会人基礎力を身に付けること」、「チームワークで仕事ができるようにすること(これは、コミュニケーション力を身に付けることにもつながる)」、「海外でコミュニケーションができるようにすること」、「将来自分がどのようにになりたいのかをイメージさせること」などである。
- 企業においても、インターンシップや工場見学の受け入れなどで協力していきたいと考えている。
- 意見 6 会社見学等に訪れた高校生に「会社に入るまでに何をすればいいですか」と聞かれることがある。これについては、まず第一に、卒業まで学校での授業(勉強)をしっかりやるのが、最も大切であると答えている。
- また、「資格は何を取ったらいいですか」と、高校生に聞かれることがある。これについては、「学校の方で取得を推奨している資格は、しっかり取ること」が重要であると答えている。
- 会社へ入ってから必要な資格のことは、入社後しっかりと会社で教えるので、とにかく高校生は、学校の勉強をしっかりやって卒業し、入社して欲しいと考えている。
- 意見 7 高校時代から健康管理をしっかりやって欲しいと考えている。特に会社へ入れば交代勤務がある場合もあるので、日頃から健康管理にしっかりと気をつけ、入社までに直すべき所(病気等)は、しっかり直して入社するようにして欲しいと考えている。
- また、工場での安全確保については、最も大切なことである。「危ないな」と気づく感性を磨いて入社して欲しい。
- 意見 8 授業を参観した感想は、おとなしくて良い生徒ばかりということである。女性の先生の授業も見たが、どの生徒も落ち着いて授業を受けていた。
- 工業の実習の授業では、「就職して一生この仕事をしたい」という気持ちを多くの生徒がもって取り組んでいるように感じた。大変良いことであると思う。
- 意見 9 他校とは異なり、4学期制を採用しているということであるが、この取組は良いと思う。今後も続けて欲しい。
- 意見 10 生徒の下校時の態度、挨拶、自転車通学のマナーは、最近非常に良くなった。ただし、定時制の生徒だと思うが、過去に、夜、奥(路地)へ入って喫煙するようなことがあった。注意して欲しい。
- 意見 11 学校は、地元住民の非常時の避難所になっている。自治会長を学校に集めて会議をするなど、学校と自治会の連絡を密にする方策について検討して欲しい。

- 意見 12 東門の前の川(用水路)に橋を架けることについては、非常時にも役立つので自治会として大垣市へ今後も要望していく。
- 意見 13 地元の運動会、祭りなどに、毎年、大垣工業高校の太鼓部に出演してもらっている。地元住民に好評であり感謝している。
- 意見 14 本日は、実習の授業を参観したが、各生徒は、自分で選んで入学した学科で、その専門科目の内容を勉強しているのだから、どの生徒も興味を持って、一生懸命取り組んでいるのだと感じた。
- 意見 15 高校で取れる資格があることは、具体的な目標を定められることにつながるので、良いことだと思う。
- 意見 16 最近の若者は「やれ」と言ったことは黙々とやる。しかし、その先がない。もっと全体の段取りを考え、全体の流れをつかみ仕事ができるようになると良い。
言われたことだけではなく、一步踏み込んでやれば、自分の力量や知識の向上にもつながる。このようなことができる若者に育てていくと良いと思う。

6 会議のまとめ

本日いただいたご意見を真摯に受け止めて、本校の教育活動を進めてまいります。